

京都大学大学文書館研究紀要

第 13 号

論文

1950年前後における京大学生運動(上)

福家 崇洋 < 1 >

論文

米国型文書整理法の誕生とその変容：
配列システムからレコード・マネジメントへ

坂口 貴弘 < 27 >

研究ノート

1939年の兵役法改正をめぐって
——「学徒出陣」への第一の画期として——

西山 伸 < 43 >

聞き取り記録

嶋谷又三郎氏「学徒出陣」

< 55 >

書評

上代庸平編『アーカイブズ学要論』

白川 栄美 < 97 >

『京都大学大学文書館研究紀要』編集要項 < 103 > 編集後記 < 104 >

京都大学大学文書館

2015年3月20日

『京都大学大学文書館研究紀要』編集要項

1. 京都大学大学文書館に、京都大学大学文書館研究紀要（以下、「研究紀要」という。）の構成および内容に関する基本的計画の立案その他編集の総括を行うため、京都大学大学文書館研究紀要編集委員会（以下、「編集委員会」という。）を置く。
2. 編集委員会に委員長を置き、大学文書館長をもってあてる。委員は大学文書館教員とする。
3. 研究紀要には、京都大学および高等教育の歴史、アーカイヴズ論等に関する論文、研究ノート、資料紹介、書評等を掲載する。
4. 論文は、400字詰原稿用紙換算で60枚以内、研究ノートは40枚以内、資料紹介は80枚以内、書評は20枚以内とする。ただし、編集委員会で特に認めた場合はその限りではない。
5. 研究紀要に執筆することができるのは、京都大学大学文書館の教職員のほか、学内外を問わず編集委員会で選任して依頼した者、執筆を希望して編集委員会で認められた者とする。
6. 原稿は原則として未発表のものに限る。

編集後記

『京都大学大学文書館研究紀要』第13号をお届けします。

大学史・高等教育史に関しては、論考2本及び聞き取り記録1本を掲載しております。これらで取り上げられる学徒出陣や第二次大戦後の学生運動といったトピックについて、当館ではこれまでも積極的に調査・研究を行い、企画展や本紀要を通じてその成果を公表してまいりました。本号では、国内外の一次資料や聞き取りに基づき、これらの出来事の背後にあった経緯や法制度、実態について多角的な視点から検証を試みています。

アーカイヴズ論に関しては、論考1本及び書評1本を掲載しております。「公文書等の管理に関する法律」(公文書管理法)の施行を契機として、諸外国の公文書管理制度とアーカイヴズに関する研究が様々な領域で進みつつあります。本号には、このような研究の成果として最近刊行されたテキストの書評とともに、アメリカの文書管理制度の成立過程についての論考を収録いたしました。

今後とも、京都大学大学文書館及び本研究紀要をご指導くださいますよう、よろしく願いいたします。

(大学文書館助教 坂口 貴弘)

京都大学大学文書館研究紀要 第13号

2015(平成27)年3月20日発行

編集 京都大学大学文書館研究紀要編集委員会

発行 京都大学大学文書館

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町15-9

電話 075(753)2651

印刷 ヨシダ印刷株式会社

〒604-8277 京都市中京区三坊西洞院町572

電話 075(252)5421

Research Bulletin of Kyoto University Archives

No.13

ARTICLE

Student Movement in Kyoto University around 1950 (the first part)

FUKE Takahiro < 1 >

ARTICLE

From arrangement to management: the birth of vertical filing system and the decentralization of recordkeeping unit in the United States

SAKAGUCHI Takahiro < 27 >

NOTE

The Amendment to the Draft Law in 1939

NISHIYAMA Shin < 43 >

INTERVIEW

SHIMATANI Matasaburo: On the Student Mobilization into the Military

< 55 >

REVIEW

JOUDAI Youhei ed, *Archival Studies*

SHIRAKAWA Emi < 97 >

Kyoto University Archives

2015. 3 . 20